

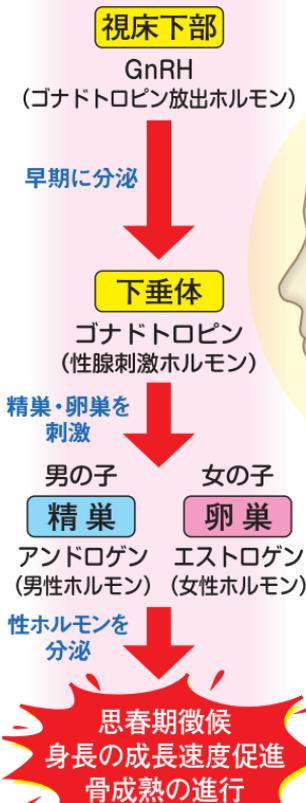
# リュープロレリン酢酸塩注射用キット「NP」で 中枢性思春期早発症の治療を受けられる お子さんと保護者の方へ

監修：郷司克己先生（兵庫県立こども病院 代謝内分泌科 部長）

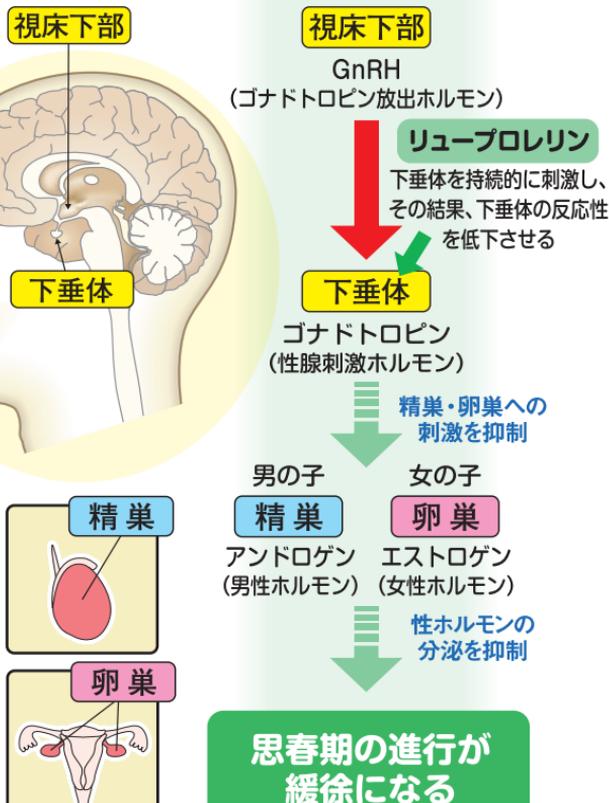
## ●このお薬について

リュープロレリンは、下垂体に作用して男の子では精巣、女の子では卵巣を刺激するゴナドトロピン（性腺刺激ホルモン）の分泌を抑制するお薬です。リュープロレリンの定期投与によって、男の子ではアンドロゲン（男性ホルモン）、女の子ではエストロゲン（女性ホルモン）の分泌が抑えられ、思春期の進行が緩徐になり、年齢不相応な外性器の発達や月経などの思春期徴候を抑えることができます。

## 中枢性思春期早発症



## リュープロレリンによる治療





## ● 治療中の注意

- このお薬は、4週に1回の注射で持続的な効果が得られるように、お薬を注射部位に長くとどまらせているため、「かたまり」として感じられます。注射した直後に、もむと効果の持続時間が変動することがあります。注射部位の皮膚を傷つけてしまうと、化膿したり、傷が深くただれた状態になる場合がありますので、注射部位をこすったり、もんだり、圧迫しないようにしましょう。注射部位に異常がみられた場合には、すみやかに医師や看護師に伝えてください。
- 初回の注射ではゴナドトロピンの分泌が一時的に刺激されるため、女の子で思春期徴候が進行している場合には、まだ初経がみられない方でも初回の注射のあと1週間前後に初経様の出血が認められる場合があります。これは薬が作用している初期の段階で一時的に起こっているものですので、心配いりません。
- このお薬による治療終了後、低下した性ホルモンは徐々に元のレベルに回復していきます。男の子の場合、治療終了2年後までに成人レベルに達します。女の子の場合は、治療前に月経のあった方では3～6カ月以内に月経が再来し、月経のない方で1～2年後に初経が見られるとされています。
- このお薬は4週間ごとに継続して治療を受けていただく必要がありますので、きちんと治療日に来院してください。できない場合は、必ず医師に連絡しましょう。
- 4週間に1回の通院以外は、いつもと同じように生活ができます。特に制限はありません。
- このお薬による治療は、少なくとも通常の思春期の開始年齢までは続けます。お薬をやめる時期については医師とよく相談しましょう。
- 他の医療機関を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入する場合は、必ずこのお薬で治療を受けていることを医師または薬剤師に伝えてください。
- その他、気になることがありましたら、医師または看護師にご相談ください。

受診病医院名